

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (971), 課コード (1005), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Table for post-evaluation including current status (現状) and evaluation comments (評価コメント).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 972 課コード 1005 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②部課名 消防本部・東消防署, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 48人 (換算人数 7.04人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし.
(2) 目的: 市民の防火に対する意識・意欲を高める事により、地域格差を無くした自主防災意識が確立され、災害を最小限に抑える。
(3) 事業内容: 住宅用火災警報機の設置の推進, 自衛消防訓練 避難訓練、消火訓練及び防災資機材の取扱い指導, 火災原因調査 火災発生時の原因の究明, 広報活動 火災予防運動中、火災気象通報発令中及び災害時の避難広報等.
(4) 達成目標 (期待する成果): 火災予防活動を推進し、火災発生件数を減少する.
(5) 事業実施上の課題と対応: 市民の協力が不可欠であり、広報・事前通知が必須である。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか？, (5) 目標設定は適切か？, (6) 事業費削減の工夫をしているか？, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用).
事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))
改善検討: ○要 ●不要

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他 (事業完了など)
評価コメント: 本事業は住宅用火災警報機の設置指導や自衛消防訓練における防火指導等、火災を未然に防ぎ、市民の生命と財産を守るために重要な事業であるため、今後も現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	973	課コード	1005	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 救急救助体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署								
	③事業主体	個別事業 救急・救助業務	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市											
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	48人 (換算人数) 5.34人										
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	46,458千円 (うち人件費 46,458千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無			部門別計画への位置づけ (計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	救急救助体制を強化・充実するため、人員の養成や装備の増強などに努めるとともに、広域での連携強化を図ります。また、市民自身の救命率を高めるため、応急手当や救命講習などの講習会を充実させていきます。さらに、緊急性のない救急出動については民間の活用を促すとともに、適切な救急要請を行うようPRに。				事業目的	複雑多様化する災害に対応するため、救急救助体制の充実を図り、災害出動時適確に対応する。								
(3) 事業内容	内容	管内の住宅環境、道路事情を把握し、現場到着までの時間短縮を図り災害による被害を最小限に抑える。 ・我孫子市警防要綱に基づき各種訓練の実施、救急救助技術の習得及び向上を図る。 ・警防計画の見直し、更新。 ・救命講習、自衛消防訓練等で救急車の適正利用を広報する。				当該年度執行計画	・通年 出場訓練及び警防調査の実施。応急手当や救命講習など講習会の充実を図る。研修所入校を含め近隣市町で開催される各種講習会に参加。								
		当該年度活動結果指標	入電から現場到着時間 8.5分以内の割合		単位	%	想定値	100		実績値	58.3				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	入電から 8.5分以内で救急救助現場までに確実に到達し、救急救命率を高める。					直接	入電から現場到着時間 8.5分以内の割合		%	62.1	100				
令和3年度	入電から 8.5分以内で救急救助現場までに確実に到達し、救急救命率を高める。					直接	入電から現場到着時間 8.5分以内の割合		%		100				
令和4年度	入電から 8.5分以内で救急救助現場までに確実に到達し、救急救命率を高める。					直接	入電から現場到着時間 8.5分以内の割合		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	救急件数の増加による市民サービスの低下のため、救急隊の増隊及び市内病院の受け入れ態勢の強化					代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			救急・救助業務 各種訓練の実施	0		救急・救助業務 各種訓練の実施	0				救急・救助業務 各種訓練の実施	0			
				0			0					0			
		予算(決算)額	合計		0	合計		0	0	合計		0	合計		0
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
		県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
		起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
		一般財源		0			0		0		0			0	0
		その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他
換算人数(人)	5.94		5.34		5.34		5.34		5.34		5.34				
正職員人件費	52,272		46,458		46,458		46,458		46,458		46,458				
嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		0				
臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	52,272		46,458		46,458		46,458		46,458		46,458				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	522.72千円/%		464.58千円/%		796.88										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	救急要請も複雑多様化し、その中でも心肺機能が停止した傷病者に対し、救急現場及び搬送途上において高度な救命処置を行うことで、傷病者の社会復帰の向上を図る。又、中高層建物において火災防衛にあたる救助隊員の安全管理と人命救助のため、不可欠である。				<input checked="" type="radio"/> ①事前確認での想定どおり <input type="radio"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 救急要請、救助要請に対する活動は、市民の生命と財産を守る上で必要不可欠である。				<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="radio"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <input type="radio"/> ②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input checked="" type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容> 救急、救助業務は法令により市が実施する責任を有しており、公共性が極めて高い業務であるため市が実施する必要がある。		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 <input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容> 該当無し。		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容 <input type="radio"/> ①当初期待した以上 <input checked="" type="radio"/> ②当初期待したとおり <input type="radio"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
	環境への配慮	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当無し。		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮 <input checked="" type="radio"/> ①想定どおり <input type="radio"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック <input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<input type="radio"/> ①目標値達成 <input checked="" type="radio"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 救急件数の増加により、救急要請者直近の救急隊が出動できない割合が増加しているため。		<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 <input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<input type="radio"/> ①想定事業費未済 <input checked="" type="radio"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="radio"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input checked="" type="radio"/> ①事前の想定どおり <input type="radio"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 <input checked="" type="radio"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="radio"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<input type="radio"/> ①目標値以上 <input checked="" type="radio"/> ②目標値と同程度 <input type="radio"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 救急件数の増加により、救急要請者直近の救急隊が出動できない割合が増加しているため。		<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要

3. 事後評価										
<input checked="" type="radio"/> 現状どおり推進 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 結合 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 事業手法見直し <input type="radio"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				
	救急、救助の件数は年々増加しているため、更に体制を強化し推進していく必要がある。									

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1649 課コード 1005 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②部課名 消防本部・東消防署, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 48人 (換算人数 4.42人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし.
(2) 目的: 火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。
(3) 事業内容: 資機材等の点検及び、維持管理を継続的に実施し、災害現場での消防活動体制の確保を図る。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 資機材の増強に対応するため、消耗品や修繕等、維持管理に掛かる費用の無駄を省く必要がある。
(8) 施行事項: 実施内容 費用
(9) 財源内訳: 国庫支出金 補助率 0%, 県支出金 補助率 0%, 起債 充当率 0%, 一般財源, その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他
(10) 人件費等: 換算人数(人) 4.42, 正職員人件費 38,896, 嘱託職員報酬額 0, 臨時職員賃金額 0
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標): 388.96千円/%

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫: 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
環境への配慮: 環境に配慮して事業を進めているか?
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 本事業は、消防機械器具取扱規程に基づき実施しており、各種災害から市民の生命、財産を守るためにも必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1650 課コード 1005 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②部課名 消防本部・東消防署, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 48人 (換算人数 4.62人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし.
(2) 目的: 消防活動に重要な施設である消防水利の維持管理を行うことにより、迅速で効果的な消防活動体制を整え、火災等から被害の軽減を図る。
(3) 事業内容: 消防法第二十条第二項の規程及び、消防水利の基準に基づき、計画的に消防水利の維持管理を行い火災発生時に支障が生じないようにする。また、消防水利の点検は毎月行い、点検時に有効水圧、蓋閉閉確認及び水漏れ等の確認をする。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果) 指標種類 指標 単位 (5) 現況値 (6) 目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討 ○有 ●無

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか？
(5) (1) 目標設定は適切か？
(6) (2) 事業費削減の工夫をしているか？
(7) (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他 (事業完了など)
評価コメント 本事業は、火災等の災害から市民の生命と財産を守るという目標を達成するために必要不可欠な事業となっていることから、今後も現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1651 課コード 1005 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 □経常 ■なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②実施計画への位置づけ ○有 ●無, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 48人 (換算人数 9.4人), ⑦事業費(人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし, ⑨基本計画地区別計画への位置づけ ○有 ●無, 部門別計画への位置づけ (計画名)
(2) 目的: 施策目的・展開方向 火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。
(3) 事業内容: 内容 管内の住宅環境や水利状況や道路事情を把握し、現場到着までの時間短縮を図り、災害による被害を最小限に抑える。
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果) 各種災害に対応できる消防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。
(5) 当該年度: 各種災害に対応できる消防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。
(6) 令和3年度: 各種災害に対応できる消防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。
(7) 令和4年度: 各種災害に対応できる消防体制の確立を図り、市民が安心して生活が出来る街づくりを目指す。
(8) 事業実施上の課題と対応: 都市化に伴う高層集合住宅等の増加による複雑多様化する災害に十分対応できる消防体制の維持及び更なる消防体制の確立を図るため、装備の充実及び適正な人員配置が必要である。
(9) 財源内訳: 予算(決算)額 合計 0, 国庫支出金 補助率 0%, 県支出金 補助率 0%, 起債 充当率 0%, 一般財源, 其他財源 □特会 □受益 □基金 □その他, (10) 人件費等: 換算人数(人) 9.4, 正職員人件費 82,720, 嘱託職員報酬額 0, 臨時職員賃金額 0, 事業費(予算(決算)額+正職員人件費) 82,720, (11) 単位費用(事業費/活動結果指標) 827.2千円/%

2. 事業の評価 (DO+CHECK)
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性): 昭22年に消防組織法が施行され、これに基づき消防業務を実施している。
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性): ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり): ①事業計画時に市民の参画有り ②事業実施時に市民の参画有り ③管理・運営に市民の参画有り ④市民の自主的な活動と連携している ⑤市民と共同で事業を実施 ●6その他 <その他の内容> 該当無し。
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?: ①自然環境を生かしている ②生き物と共存している ③手賀沼を意識している ④環境負荷低減に貢献している ■5その他 <その他の内容> 該当無し。
(5) 目標設定は適切か?: 現況値(a)(%) 46, 目標値(b)(%) 100, 目標値の妥当性のチェック ■1客観的なデータ・事実に基づき設定している □2現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □3現況値との差が小さい値ではない □4適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である, 達成状況 実績値(f)(%) 69.4, 達成率(%) (f/b)×100 69.4, ①目標値達成 ●2目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 算出方法を見直したことから、実績が下がった。
(6) 事業費削減の工夫をしているか?: 対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円) 81,780, 事業費削減額(d)(千円) 940, 事業費削減率(%) 1.14, 実施予定の対策 □1国・県助成制度活用 □2現有体制での対応 □3維持管理費の削減策の実施 □4民間委託 □5PFI等民間資本の活用 □6受益者負担 □7その他 <削減の内容> <超過理由等>, 実施状況 実績値(g)(千円) 81,780, 対事業費(%) (g/c)×100 100, ①想定事業費未済 ●2概ね想定事業費以内 ③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●1事前の想定どおり ○2事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用): 目標値対事業費(e) 0.12, 単位 % 費用単位 10万円, 計算方法 ●1単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○2複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費, 達成状況 実績値(h) 0.08, 対目標値(%) (h/e)×100 66.67, ①目標値以上 ○2目標値と同程度 ●3目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 算出方法を見直したことから、実績が下がった。

3. 事後評価
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント: 本事業は各種災害から市民の生命、身体、財産を守るためには、必要不可欠な事業であり、各種災害対応訓練及び地理、水利の把握による現場到着時間の短縮を目標とし、今後も現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1663), 課コード (1005), 会計種別, 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1693	課コード	1005	会計種別		予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・東消防署							
	③事業主体	個別事業 消防立入検査業務	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市										
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )	⑥担当職員数	48人 (換算人数)		3.64人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	31,668千円 (うち人件費 31,668千円)									
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	市内防火対象物に対し立入検査を実施し、自主防火管理の充実を働きかけ防火安全の確保を図る。								
(3) 事業内容	内容	消防法第4条、第16条の5及び我孫子市予防検査規程に基づき、年間定期検査計画をたて、市内防火対象物に対し立入検査を実施する。防火管理の状況や消防用設備等の管理状況が適正であるかどうか確認し不備がある場合には立入検査結果通知書により指摘し改修計画書により是正を促す。また、重大な消防法令違反に対しては公表制度に則り、違反のある建物の情報を公表することで是正の徹底を図る。			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間定期検査計画に基づき、防火対象物の立入検査実施</li> <li>2月次年度の年間定期検査計画の作成</li> <li>通年違反対象物に対して追跡調査の実施</li> </ul>								
		当該年度活動結果指標	立入検査実施件数	単位	件	想定値	60		実績値	58.6				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期検査計画数		%	100	100					
令和3年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期検査計画数		%		100					
令和4年度	立入検査を実施し関係者の防火意識の向上を図る。			直接	立入検査の実施率=立入検査実施件数/年間定期検査計画数		%		100					
(7) 事業実施上の課題と対応	関係者の防火管理の認識が低いケースが見受けられるため、防火管理の徹底を図らせ、火災予防の重要性を認識させる必要がある。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0		立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0		立入検査の実施 自主防災管理の充実に向けた働きかけ	0				
				0			0			0				
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		0		0	0		0		0		0		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		3.44		3.64	3.64		3.64		3.64		3.64		
	正職員人件費		30,272		31,668	31,668		31,668		31,668		31,668		
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		30,272		31,668	31,668		31,668		31,668		31,668		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			504.53千円/件		527.8千円/件	540.41								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	消防法、火災予防条例に基づく事務事業が必要である。				<input type="radio"/> ①事前確認での想定どおり <input checked="" type="radio"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 消防法、火災予防条例に基づき、防火対象物の立入検査を実施することで、火災による人命の危険を事前に排除するため、必要不可欠な事業である。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input checked="" type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法令等で市が実施することが定められ、火災予防に必要があるため		○要 ●不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 <input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	環境への配慮	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手質沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	<input type="radio"/> ①目標値達成 <input checked="" type="radio"/> ②目標値未達成		○要 ●不要	
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 <input checked="" type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	実施状況 実績値(g)(千円) 対事業費(%) 31,668 100		○要 ●不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況	<input type="radio"/> ①目標値以上 <input checked="" type="radio"/> ②目標値と同程度 <input type="radio"/> ③目標値以下		○要 ●不要	
	0.32	単位	費用単位	<input checked="" type="radio"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="radio"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、検査を見合わせたため、立入検査実施件数が減少した。		

3. 事後評価										
<input checked="" type="radio"/> 現状どおり推進 <input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 結合 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 事業手法見直し <input type="radio"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				
	本事業は、防火対象物の立入検査を実施することで、火災から人命への危険を事前に排除し、火災が発生した場合の被害を最小限にすることを目的としていることから必要不可欠な事業であり、今後も現状どおり推進していく。									